

- 問1 北半球の夏季にあたる6月から9月にかけて気温が上昇する一方で、同時期の降水量が極端に少なくなり、夏に高温乾燥となる特徴を持つ気候を何とといいますか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 熱帯雨林気候

2. 西岸海洋性気候

3. 地中海性気候

4. 温暖湿潤気候
- 問2 ケープタウン（南アフリカ）、テヘラン（イラン）、ホーチミン（ベトナム）、ウェリントン（ニュージーランド）、オタワ（カナダ）の5つの都市のうち、四季の変化がはっきりした「温帯」に共通して属している都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. テヘランとオタワ

2. ホーチミンとウェリントン

3. ケープタウンとウェリントン

4. ケープタウンとホーチミン
- 問3 北京の気候について、季節風（モンスーン）や大陸の影響を考慮した説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 偏西風と暖流の影響を強く受け、冬でも気温が下がりにくく一年を通して平均的に雨が降る。

2. 一年中高温多湿で、季節による気温や降水量の変化がほとんど見られない気候である。

3. 季節風の影響で夏は高温多湿となるが、冬は大陸の影響を強く受けて極めて寒冷で乾燥する。

4. 一年を通じて降水量が極めて少なく、日中の気温上昇が激しい乾燥した気候である。
- 問4 赤道付近に位置するシンガポールなどの熱帯の地域では、月別の平均気温が1年を通じて27度から28度付近でほぼ一定であり、季節による寒暖の差がほとんど見られないという特徴があります。このような気候条件を生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた農業と作物の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)

1. 年中高温であることを生かし、生育に高い気温が必要な米を栽培している

2. 季節による気温の変化が大きいため、夏に米を栽培し、冬に小麦を栽培している

3. 1年を通じて気温が低いため、寒さに強いライ麦の栽培を行っている

4. 年中高温であることを生かし、乾燥した気候を好む小麦を栽培している
- 問5 アフリカ大陸北部や西アジアに広がる乾燥帯の地域では、全身を覆うような長袖で丈の長い衣服を着用する生活様式が見られます。このような衣服がこの地域で普及している理由として、自然環境との関わりから説明したものととして最も適切なものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 日中の強い日差しや砂ぼこりから身を守るため

2. 多湿な気候において汗の蒸発を促し、体温を下げるため

3. 標高が高い地域での急激な気温の低下に対応するため

4. 年間を通じて降水量が多いため、肌が濡れるのを防ぐため
- 問6 世界の主要な農産物について、その生産割合をまとめた統計があります。世界全体の生産量に占める割合が、中国27.5%、タイ4.9%となっている農産物(a)と、中国17.0%、アメリカ合衆国8.1%となっている農産物(b)の名称の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. (a) コーヒー豆、(b) 米

2. (a) 米、(b) 茶

3. (a) 小麦、(b) 米

4. (a) 米、(b) 小麦
- 問7 インドの社会や文化に大きな影響を与えているヒンドゥー教の特徴について、その背景や社会制度との関わりに触れた説明として正しいものを選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 特定の神を持たない多神教であり、インドから東南アジアや日本へ広がる過程で、厳しい身分制度を廃止する役割を果たした。

2. 特定の国や地域に限定されない世界宗教であり、イギリスの植民地支配を受けた際に、キリスト教の教えと融合して誕生した。

3. 唯一神を信仰する宗教であり、砂漠での過酷な生活から生まれたため、牛だけでなくあらゆる肉食を禁じる制度を設けている。

4. カースト制度という歴史的な身分制度と深く結びついており、人々の生活や職業、結婚などに影響を及ぼしてきた。
- 問8 北半球にある地点の観測データにおいて、気温を示すグラフが夏に高く冬に低い山型の形状を示す一方で、降水量が6月から8月にかけて極端に少なく、10月から1月にかけて多くなる「V字型」の推移を示す気候区分を何とといいますか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)

1. 地中海性気候

2. 熱帯雨林気候

3. 西岸海洋性気候

4. 温暖湿潤気候
- 問9 ある地域の気象統計によると、年平均気温は約19度、年降水量は約940ミリですが、7月と8月の降水量が極端に少なく、気温が最も高い時期に乾燥する特徴があります。このような気候条件を活かして、この地域で古くから盛んに行われてきた農業の内容として正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)

1. 夏季の高温多湿な気候と豊富な水資源を利用して、年に二回の稲作を行う

2. オリーブやブドウなど、夏の乾燥に強い作物を栽培し、オイルやワインに加工する

3. 冷涼な夏季の気候を活かして、キヤベツやレタスなどの高原野菜を大規模に栽培する

4. 広大な牧草地を利用して、水と草を求めて季節ごとに移動する遊牧を行う
- 問10 年平均気温が約28度、年間降水量が約70ミリメートルという乾燥した地域のデータがある。この地域の月ごとの気温の変化を確認すると、6月前後に気温が最も高くなるピークが見られる。この条件に合致し、広大な砂漠が分布していると考えられる地域はどこか。 (2024年 島根県公立入試 類似)

1. 世界最大の砂漠が広がる北アフリカの地域

2. 北緯40度付近の中緯度に位置する北アメリカの地域

3. 大陸内部で乾燥が進んだ中央アジアの地域

4. 南半球に位置し、沿岸を寒流が流れる南アメリカの地域
- 問11 世界の農産物生産統計において、ブラジル（約1億1,427万トン）とアメリカ合衆国（約9,679万トン）の2か国が世界全体の生産量の多くを占め、3位の中国（約1,572万トン）を大きく引き離している品目として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 大豆

2. 小麦

3. 米

4. 茶
- 問12 低緯度地域に見られる気候のうち、一年を通して気温が高いものの、五月から九月にかけては月間降水量が二百ミリを超える一方で、十一月から三月にかけては雨が極端に少なくなるなど、雨季と乾季が明瞭に分かれる気候を何とといいますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)

1. 地中海性気候

2. サバナ気候

3. 熱帯雨林気候

4. 砂漠気候
- 問13 二酸化炭素の排出量が多い中国やインドなどの国々は、国際的な排出削減の話し合いにおいて、先進国に対して「公平な負担」を求める主張をすることがあります。これらの国々が主張する、削減義務に関する背景として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)

1. 産業革命以降、長年にわたって二酸化炭素を排出し続け、現在の地球温暖化を招いたのは先進国であるという考え方

2. 新興国は人口が多いため、国全体の排出量は多くても、一人あたりの排出量は先進国より少ないため削減は不要であるという考え方

3. 先進国が高度な環境技術を提供しない限り、新興国には排出を制限する国際法上の義務は一切発生しないという考え方

4. 新興国には森林が多く、二酸化炭素の吸収量が排出量を上回っているため、統計上の数値は無視できるという考え方